

# 人間のなかに潜<sup>ひそ</sup>む力は みずからを目覚めさせられることを願っている\*

ルドルフ・シュタイナー

学ぶということは知識を取り入れることではなく、まだ現れていなかった自分の力と本当の意味で出会うということなのです。

私たち大人は常に学ぶ存在であるのです。そしてその学ぶ大人を見て、初めて子どもは自分で自分を成長させようと思うのです。なぜならすべては自己教育なのですから。

永遠の未完成、これ完成である。どの年齢になっても常に成長していく人間であることは、私たち一人一人が自分の中に潜む力に対して信頼している証でもあるのです。

東京賢治シュタイナー学校教師 鳥山雅代

シュタイナー教育は「自由への教育」としてルドルフ・シュタイナーが提唱し、1919年ドイツから始まりました。一人ひとりの個性を尊重し、個人の持つ能力を最大限に引き出す教育方法です。学年、年齢にふさわしい授業カリキュラムで学び、知的能力だけでなく、手足を動かした芸術作業にも重点を置いて取り組んでいます。現在、世界60カ国1000校以上、日本には7校のシュタイナー学校があります。